

工事名

平成 年 月 日

工事出来高報告書  
(既済部分検査用)

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量 ①	監督職員 指示での 変更数量	合計	出来高		積算 金額 ④	出来高 金額 ⑤=③×④	摘要
									数量②	進捗率 ③=②/①× 100			

- 注: 1. 進捗率③(%)は、小数第1位(小数第2位切捨)とする。  
 2. 工種等毎の出来高金額⑤は、1円単位とし、出来高算出金額の合計は、万円単位とする。(万円未満切捨)  
 3. 直接工事費の合計の摘要欄には、出来高率(小数第1位(小数第2位切捨))を記載する。  
 4. 必要に応じて工事出来高内訳書を添付する。  
 5. 中間前金の出来高確認払いに用いる場合は、「既済部分検査用」の表示を消して使用するものとする。  
 6. 総価契約、総価契約単価合意方式(ユニットプライス型積算方式等)の場合は、「細別」を「ユニット区分」に、「規格」を「プライス条件/プライス条件区分」に、「積算金額」を「ユニット単価合意書工種別金額」にそれぞれ書き換えて使用するものとする。

## 第 工 事 出 来 高 内 訳 書 内 訳 書

名 称	規 格	単 位	設計数量	監督職員 の指示に よる数量	合計	出来高		工事出来 高内訳書 における 構成比率 ②	工事出来 高報告書 における 進捗率 (%) ①×②	摘 要
						数量	進捗率(%) ①			

注: 1. 工事出来高内訳書における構成比率は、工事出来高内訳書の各名称毎の金額比率から算出し、小数第2位(小数第3位切捨)とする。  
 2. 工事出来高報告書における進捗率は、構成比率に出来高進捗率を乗じ、小数第1位(小数第2位切捨)とする。

記入例

様式一東(2)-3

工事名

平成 年 月 日

工事出来高報告書  
(既済部分検査用)

主任監督員		監督員		現場代理人	
-------	--	-----	--	-------	--

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量 ①	監督職員 指示での 変更数量	合計	出来高		積算 金額 ④	出来高 金額 ⑤=③×④	摘要
									数量②	進捗率 ③=②/①× 100			
道路改良					式	1		1			75,331,655	33,514,338	
	道路土工				式	1		1			32,439,400		
		掘削工			式	1		1			10,801,000		
			掘削(土砂)		m3	10,000	1,200	11,200	11,200	112	6,945,000	7,778,400	
			掘削(軟岩)		m3	2,000		2,000	2,000	100	3,856,000	3,856,000	
		路体盛土工			式	1		1			15,832,600		
			路体(流用土)		m3	11,300		11,300	11,300	100	1,582,000	1,582,000	
			路体(購入土)		m3	8,700		8,700	6,000	68.9	14,250,600	9,818,663	
		路床盛土工			式	1		1			5,121,000		
			路床(購入土)		m3	3,000		3,000			5,121,000		
		法面整形工			式	1		1			684,800		
			法面整形(盛土部)		m2	2,000		2,000			684,800		
	法面工				式	1		1			352,000		
		植生工			式	1		1			352,000		
			種子散布		m2	2,000		2,000			352,000		
	擁壁工				式	1		1			11,525,810		
		作業土工			式	1		1			244,390		
			床掘り		m3	500		500	500	100	121,600	121,600	
			埋戻し		m3	300		300	300	100	122,790	122,790	
		既製杭工			式	1		1			3,537,000		
			既製コンクリート	PC杭 杭径 300r	本	30		30	30	100	3,537,000	3,537,000	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		補強土壁工			式	1		1			2,728,720		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	92		92		50	2,728,720	1,364,360	第1号内訳書
		補強土壁工			式	1		1			1,142,100		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	30		30		50	1,142,100	571,050	第2号内訳書
	カルバート工				式	1		1			31,014,445		
		作業土工			式	1		1			888,875		
			床掘り		m3	2,460		2,460	2,460	100	598,272	598,272	
			埋戻し		m3	710		710	710	100	290,603	290,603	
		場所打函渠工(構造物単位)			式	1		1			13,183,172		
			函渠	24-8-25(20)(高炉)	m3	170		170			4,533,900		
			鉄筋	SD345 D13	t	19		19			2,568,732		
			鉄筋	SD345 D16~25	t	17		17			2,278,716		
			鉄筋	SD345 D29~32	t	28		28			3,801,824		
直接工事費					式	1		1			75,331,655	33,514,338	44.4%
共通仮設					式	1		1	1		12,762,400		
	共通仮設費				式	1		1			762,400		
		安全費			式	1		1			536,200		
			交通誘導員	A	人日	56	16	72	33	58.9	511,200	301,096	
			安全対策施設		式	1		1			25,000		
		技術管理費			式	1		1	1		226,200		
			〇〇調査		式	1		1	1	100	226,200	226,200	
	共通仮設費(率計上)				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
純工事費					式	1		1	1		12,000,000		
	現場管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事原価					式	1		1	1		12,000,000		
	一般管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事価格											112,094,055	50,020,000	▲ 5,634

- 注:
- 進捗率③(%)は、小数第1位(小数第2位切捨)とする。
  - 工種等毎の出来高金額⑤は、1円単位とし、出来高算出金額の合計は、万円単位とする。(万円未満切捨)
  - 直接工事費の合計の摘要欄には、出来高率(小数第1位(小数第2位切捨))を記載する。
  - 請負者は太枠内のみ記入するものとする。
  - 必要に応じて工事出来高内訳書を添付する。
  - 中間前金の出来高確認払いに用いる場合は、「既済部分検査用」の表示を消して使用するものとする。
  - 総価契約、総価契約単価合意方式(ユニットプライス型積算方式等)の場合は、「細別」を「ユニット区分」に、「規格」を「プライス条件/プライス条件区分」に、「積算金額」を「ユニット単価合意書工種別金額」にそれぞれ書き換えて使用するものとする。